住用地区学校統合について

～住民説明会　会議録要約版～

〇住民説明会のお知らせ・・・・・・・・・・・・・・・　1

〇住用地区住民説明会（市　会場）・・・・　2～3

〇住用地区住民説明会（東城会場）・・・　4～5

〇住用地区住民説明会（住用会場）・・・　6～7

奄美市教育委員会

住民説明会のお知らせ
～住用地区学校統合について～

日頃から住用町の教育行政に深いご理解とご協力を賜っておりますことに対し、感謝申し上げます。さて、皆様すでにご存知のとおり、令和9年4月に住用地区学校の統合に伴い、新学校が開校いたします。

これは、今後住用町における児童生徒がより良い教育環境のもと学び、これまで以上に充実した教育内容が実現されるよう再編するものです。今後、住用の子どもたちが希望をもって新設校での新学年を迎えられる環境づくりのため、支援してまいりますのでご理解とご協力を賜りますようお願いします。

この度、学校統合に向け取り組んでおります「学校統合準備委員会」の経過全般ご報告させていただきたく、下記のとおり説明会を開催いたしますので、ぜひご参加ください。

記

開 催 日	開 催 場 所	時 間	備 考
10 月 21 日（水）	市集会場	19:00～20:00	
10 月 22 日（木）	高齢者コミュニティセンター	19:00～20:00	
10 月 23 日（金）	住用公民館	19:00～20:00	

★どなたでも参加できますので都合の良い日程を選んで都合のよい場所でご参加ください！

【問い合わせ】

奄美市教育委員会　住用教育支所　地域教育課　学校統合準備室
TEL　69-2111（内 2500）

【要約】 住用地区住民説明会　市集会場

日時：令和8年 10 月 21 日（水）19 時～
場所：市集会場
参加者（住民）：男 4 人、女 3 人

1. 説明内容

住用地区の学校統合に向けた準備状況について、教育委員会から説明が行われた。

新しい学校の名称については、令和 8 年 6 月に公募を実施し、応募総数 48 件（児童生徒 24 件、教職員 6 件、地域住民 18 件）の中から、地域名を残したいとの意見を踏まえ、「住用学園」を候補として選定した。今後、12 月の定例議会に議案を提出し、正式決定を目指す。また、校歌は児童生徒の意見を取り入れながら制作する予定である。

通学支援については、統合後の通学距離を考慮し、方面別にスクールバスを運行する計画であり、朝の登校時及び放課後の下校時の運行について説明があった。6 月には合同学習の機会を利用して運行ルートや時間の確認を行った。

統合準備委員会では、総務部会、学校運営部会、PTA 部会の 3 部会を設置し、学校統合に向けた各種事項の検討を進めている。今後も準備を継続し、未決定事項の整理・決定を目指す。

2. 地域住民からの意見・質疑

＊ これまでの住民意見への対応について

これまでの検討会等で出された意見や要望について、住民への説明や回答が十分でなかったとの指摘があった。教育委員会からは、説明の機会を設けられていなかったことについて謝罪があり、これまでの意見や検討結果を踏まえて今後の対応を進める旨の説明があった。

＊ 閉校後の校舎・施設の活用について

校舎跡地や教員住宅等の今後の活用について、地域住民の意見を十分に聞いた上

で検討すべきとの意見があった。現在、アンケートにより活用希望を把握しており、関係部署との調整も必要となるが、一方的に決定するのではなく、地域の意向を踏まえて検討するとの説明があった。

＊ 地域と学校のつながりについて

統合後も学校だより等を通じて学校の活動を地域に知らせ、地域と学校のつながりを維持してほしいとの要望があった。教育委員会からは、地域との関係や各学校の特色ある活動を大切にし、学校運営の検討の中で考えていくとの説明があった。

＊ 学校備品・歴史資料の保存について

ピアノ等の楽器や学校備品の移転・活用について質問があり、必要な備品は新しい学校で活用し、その他の備品についても整理・検討するとの説明があった。また、学校沿革史、学校創設に関する文書、歴代校長の写真等について、地域の歴史を伝える貴重な資料として保存し、博物館等への移管も検討してほしいとの要望があった。

＊ 卒業生等への周知について

学校統合について、島内外に居住する卒業生にも広く情報を届けてほしいとの意見があった。教育委員会からは、東京や関西等の郷友会などの機会も活用し、周知に努めるとの説明があった。

3. 今後の対応

住民から出された意見・要望については、学校統合後の施設活用、備品・歴史資料の保存、地域との連携、卒業生への周知等を含め、関係部署や各部会で検討を進める。地域住民の意見を踏まえながら、統合に向けた準備を継続する。

【要約】 住用地区住民説明会（東城会場）

日時：令和8年 10 月 22 日（木）19 時～
場所：高齢者コミュニティセンター
参加者（住民）：男 2 人、女 1 人

1. 説明内容

教育委員会から、住用地区の児童生徒数の減少・小規模化を背景とした学校統合について、これまでの経過及び準備状況の説明があった。新学校の校名については、公募で寄せられた 48 件（地域住民 18 件、児童生徒 24 件、教職員 6 件）の応募を基に検討し、「住用学園」とする方針が示された。正式には 12 月議会定例会に議案として上程し、議決を経て決定する予定である。

校歌・校章については、専門家に制作を依頼する方針とし、校歌については子どもたちの意見も取り入れるため、各学校でワークショップを実施する予定である。また、統合に伴い通学距離が長くなる児童生徒への対応として、スクールバスをワゴンタイプの車両 2 台で運行する方向で検討しており、登下校時の運行ルートや便数等について説明があった。

準備体制については、準備委員会の下に総務部会、学校運営部会、PTA 部会等を設置し、各部会で協議した内容を準備委員会で共有しながら進めている。各部会ともおおむね予定どおり進捗しており、今後も開校に向けて必要な事項の検討・決定を進めていくとの説明があった。

2. 学校関係者からの意見

学校関係者からは、合同学習における子どもたちの楽しそうな様子などが紹介され、学校統合によって子どもたちの可能性が広がることへの期待が示された。また、3 校の校長による学校経営方針の検討や、教職員間の連携による教育課程・学校行事等の調整が進められているとの報告があった。

一方、統合に伴う備品の整理・移動には時間を要することから、各学校の備品を事前に

確認し、必要なものの選別や廃棄等を計画的に進める必要があるとの意見があった。情報共有システムの活用により、資料の共有や教職員間の意見交換が進めやすくなっていることも報告された。

3. 地域住民からの意見・質疑

地域住民からは、統合後の教員住宅の活用について意見があり、引き続き使用できる住宅は市民等への転用を検討するとともに、老朽化した住宅の維持管理や、新たな住宅整備に向けた財源確保についても検討してほしいとの要望があった。これに対し、関係者からは、住宅の状況を踏まえながら今後も検討していく旨の回答があった。

また、運動会について、統合後に各学校の行事をそれぞれ実施するのか、一本化するのかという質問・意見が出された。地域住民からは、地域ごとに参加し、世代を超えて交流する従来の運動会の良さを残してほしいとの趣旨の意見があった。関係者からは、合同開催によるメリット・デメリットを踏まえ、各学校の管理職や担当教員等の意見を聞きながら、今後調整していくとの回答があった。

4. 今後の対応について

今後も準備委員会や各専門部会で協議を進めるとともに、保護者説明会の開催やアンケートの実施を通じて、児童生徒、保護者及び地域住民の意見を把握し、学校統合の準備に反映していくことが確認された。また、集落単位など地域全体の意見も丁寧に聞き取りながら、関係者が連携して開校に向けた取り組みを進めていくこととし、説明会を終了した。

【要約】 住用地区住民説明会（住用会場）

日時：令和8年 10 月 23 日（金）19 時～
場所：住用公民館
参加者（住民）：男 6 人、女 3 人

1. 説明内容

教育委員会から、住用地区の児童生徒数の減少・小規模化を背景とした学校統合について、これまでの経過及び準備状況の説明があった。新学校の校名については、公募で寄せられた 48 件（地域住民 18 件、児童生徒 24 件、教職員 6 件）の応募を基に検討し、「住用学園」とする方針が示された。正式には 12 月議会定例会に議案として上程し、議決を経て決定する予定である。

校歌・校章については、専門家に制作を依頼する方針とし、校歌については子どもたちの意見も取り入れるため、各学校でワークショップを実施する予定である。また、統合に伴い通学距離が長くなる児童生徒への対応として、スクールバスをワゴンタイプの車両 2 台で運行する方向で検討しており、登下校時の運行ルートや便数等について説明があった。

準備体制については、準備委員会の下に総務部会、学校運営部会、PTA 部会等を設置し、各部会で協議した内容を準備委員会で共有しながら進めている。各部会ともおおむね予定どおり進捗しており、今後も開校に向けて必要な事項の検討・決定を進めていくとの説明があった。

2. 地域住民からの意見・質疑

地域住民からは、スクールバスの出発時間や下校時の帰着時間や所要時間について、乗車、降車及び各停留所への移動時間などを踏まえて意見交換が行われた。

小学校低学年の児童も利用することを想定し、児童生徒の負担や安全面に配慮した運行にする必要があるとの趣旨の発言があった。

また、校歌制作業者についてのお尋ねがあり、「一般社団法人　巡めぐる恵めぐる」が制作業者であることを回答した。

他にも、部活動におけるスクールバスの対応について、質疑があり、想定しているスクールバス時間以外は、保護者による送迎で対応していただく事を回答した。

4. 今後の対応について

今後も準備委員会や各専門部会で協議を進めるとともに、保護者説明会の開催やアンケートの実施を通じて、児童生徒、保護者及び地域住民の意見を把握し、学校統合の準備に反映していくことが確認された。